

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																							
専修学校 麻生ビューティーカレッジ	平成14年3月29日	林 宏治	〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2丁目9-23 (電話) 092-735-3800																							
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																							
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999																							
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																						
衛生	衛生専門	美容科	平成16年文部科学省 告示第30号	-																						
学科の目的	本学科は、美容師に必要となる知識技能を修得せしめ、社会に有為有能なる実践的人材を養成することを目的とする。																									
認定年月日	平成26年3月31日																									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講義	演習	実習	実験																				
2 年	昼間	2100	510	90	1950																					
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
276 人	129 人	1 人	8 人	26 人	34 人																					
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。																						
長期休み	■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月22日～1月7日 ■春季: 3月4日～4月3日		卒業・進級 条件	学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。各学期試験の通年評価がC評価(60点)以上であること。教科の区分ごとにその教科課目の3分の2以上(実習を伴う教科課目は5分の4以上)出席していること。																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 補講の実施、休学、留年 担任および学科教員との個別ガイダンスの実施。		課外活動	■課外活動の種類 無 ■サークル活動: 無																						
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 美容サロン、美容業界 ■就職指導内容 求職票面接、個別指導等 ■卒業生数 77 人 ■就職希望者数 75 人 ■就職者数 72 人 ■就職率 : 96.0 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 93.5 % ■その他 : (平成 29 年度卒業生に関する 平成30年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家資格</td> <td>②</td> <td>78人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 ・フューチャーズロードデザインパワー 優秀賞2名			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師国家資格	②	78人	73人												
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																							
美容師国家資格	②	78人	73人																							
中途退学 の現状	■中途退学者 6 名 平成29年5月1日時点において、在学者150名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者144名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、病気療養 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任と個別面談、ガイダンス記録による報告。学科会議でのクラス状況の共有。臨床心理士によるカウンセリング。保護者を交えた面談実施。 カウンセリングスキル向上のための教職員の研修参加。		■中退率 4.0 %																							
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する 東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金、校納金、寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 平成29年度実績 0名																									
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																									
当該学科の ホームページ URL	https://asojuku.ac.jp/abc/beauty/																									

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

厚生労働省の指針に合わせ、美容業界で即戦力として活躍できる美容師としての基礎をしっかりと学び、二年間で美容師国家資格取得を目指していく。また、トータルビューティを推奨する美容サロンの動向に合わせ、基礎実習はもとより、正しい美容技術・ネイル・メイク・エステの施術ができる力をつけることを基本に、適宜編成委員会を開催し授業内容等について確認を行うとともに、企業等より実習の授業を担当する講師を派遣していただく。また、実務実習として企業(サロン)実習を行い、企業からの要望を伺い教育に生かしていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置く。教育課程編成委員会の意見は、校長代行が主宰する各学科のカリキュラム会議において、カリキュラムの改善(授業科目の新設、改変や、授業方法の改善・工夫)などに行き届く限り反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
甲木 輝彦	ビューティービジョン協同組合	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	①
長島 滋	株式会社 サラ	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	③
林 宏治	麻生ビューティーカレッジ 校長	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	
佐伯 京子	麻生ビューティーカレッジ 校長代行	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	
渡辺 博明	麻生ビューティーカレッジ 事務部長	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	
江藤 登志美	麻生ビューティーカレッジ 教務部リーダー	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	
遠藤 広美	麻生ビューティーカレッジ 教務部リーダー	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	
西依 優	麻生ビューティーカレッジ 教務部リーダー	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	
福山 由花子	麻生ビューティーカレッジ 教務部リーダー	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	
山口 薫	麻生ビューティーカレッジ 教務部リーダー	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間開催数及び開催時期)

年2回開催(毎年7月、1月)

(開催日時)

平成29年度 第1回 平成29年 7月 3日 11:10~12:10

平成29年度 第2回 平成29年 1月29日 11:00~12:00

平成30年度 第1回 平成30年 7月 6日 13:30~14:30

平成30年度 第2回 平成30年12月 7日 開催予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

平成29年度の教育課程編成委員会内にて、新入社員についての意見交換の中で、「数字に弱い」との指摘があり、平成30年度入学生から入学前教育を導入する中で、簡単な計算問題等を課すようにした。また入学後のカリキュラムにおいても、衛生管理での『消毒薬の希釈』、運営管理の『資金管理』の中で計算の指導をするなど、委員会の意見を活用している。次年度のカリキュラムの中でもさらにブラッシュアップを目指し、業界に求められ、活躍し続ける人材育成に努めていく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校では体験できない接客業やサロンワークを実体験させることにより学生の社会性と共同性を涵養し、又、就職活動を控えた学生に職業意識を意識させることを目的とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

美容実習

実習の受け入れ先の美容室の実習担当者と本校美容科教員が実習実施前に、打ち合わせを行い、実習内容の詳細を決定するとともに、学生の学修成果の方法についても打ち合わせを行い決定する。実習期間中は、美容科教員が各美容室に実習期間中(8日間)に1回訪問し、学生の実習状況について直接確認するとともに、実習担当者と情報交換を行う。実習終了時には、美容室の実習担当者による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が単位認定を行う。

ヘアカット

ヘアカット(TONI&GUY)に関する授業科目の担当教員は、学校とTONI&GUYが締結している契約書に基づいて、TONI&GUYが主催する研修を受け、認定講師終了試験合格しと上で、同社より美容実習(TONI&GUY)における教育内容に関する指導方法、評価方法、教材作り等に対する助言、資料等の提供を受け、実践的な授業(ベーシックカット(ワンレングス、グラデーション、レイヤー)を60時間教える)を行う。また、実習終了後には、TONI&GUY本部講師が最終チェックを行い、学生の学修成果の評価を踏まえ、TONI&GUYと本校教員が協議した上で評価を行う。その上でTONI&GUYの合格基準を修得した学生には同社より認定証が授与される。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習 (総合実習)	総合実習として、1年次に60時間(8日間程度)美容室にて現場実習を行う。	(株)田谷、TONI&GY JAPAN、 (株)SARA、(株)ネオ・アデント
ヘアカット	1年次に60時間、教育提携しているTONI&GUYのカットプログラムを導入し、検定試験を受験する。	TONI&GUY JAPAN

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員に対して、現在の職務又は今後就くことが予想される職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。

「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が計画的に受講できるようにする。

また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・研修名:「TONI&GUY教育提携校認定講師資格取得研修」(連携企業等:TONI&GUY JAPAN)

日 程:平成29年8月21日～8月23日

内 容:認定講師としての技術力を維持するために、連携先であるTONI&GUYの規定に基づき3年に1回受講。

対 象:美容科教員 2名参加

・研修名:「教科科目『文化論』担当教員資格認定に係る研修会」(連携企業等:公益社団法人 日本理美容教育センター)

日 程:平成29年6月5日～6月21日

内 容:美容師養成施設指定規則に規定する厚生労働大臣の認定を受けて実施し、美容師養成施設において教科科目を担当するに足る知識及び技能を習得させ、その資格を付与する。

対 象:美容科教員 1名参加

・研修名:「九州地区理容師美容師養成施設教職員研修」(連携企業等:九州地区理容師美容師養成施設協議会)

日 程:平成29年10月30日～10月31日

内 容:美容師として必要な概論的知識を習得するために受講。

対 象:受講実績のない教員 1名参加

②指導力の修得・向上のための研修等

・研修名:「教育コーチング研修」(連携企業等:全国専門学校教育研究会)

日 程:平成29年8月23日～8月24日

内 容:傾聴、質問、承認のスキルを用いた効果的な対話技法であるコーチングを学び、効果的な対話のある授業や相談活動に活かせるようになることを目標とする。

対 象:美容科教員 1名参加

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名:「TONI&GUY教育提携校認定講師資格更新研修」(連携企業等:TONI&GUY JAPAN)
日 程:平成30年10月30日～10月31日
内 容:教育提携するTONI&GUYが主催する研修において、同社の技術水準以上のレベルで教育ができるよう更新研修を3年に1回受講。
対 象:美容科教員3名参加予定
- ・研修名:「保健・化粧品化学教員資格取得研修」(連携企業等:日本理美容教育センター)
日 程:平成30年11月・1月
内 容:課目の教員資格を取得するため
対 象:美容科教員2名参加予定
- ・研修名:「九州地区理容師美容師養成施設教職員研修」(連携企業等:九州地区理容師美容師養成施設)
日 程:10月開催予定
内 容:美容に必要な教養的知識の習得を行うため
対 象:美容科教員1名参加予定

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名:「初年次教育セミナー2018」(連携企業等:ベネッセグループ(株)進教アド)
日 程:平成30年7月25日
内 容:低学力層への効果的な指導方法
対 象:美容科教員1名参加
- ・研修名:「中堅教員研修「新任指導力」」(連携企業等:一般社団法人 福岡県専修学校各種学校協会)
日 程:平成30年8月28日～29日
内 容:新任の指導育成のための目標管理や新任の能力メンバーシップを引き出すための適切な指導助言ができるようになることを目指す。
対 象:美容科教員2名参加予定
- ・研修名:「インストラクショナルデザインⅡ」(連携企業等:一般社団法人全国専門学校教育研究会)
日 程:平成30年8月29日
内 容:3ポリシーについて、学科目標・教科目標の整理・学科カリキュラムの見直し・改善
対 象:美容科教員2名参加予定
- ・研修名:「コーチング実践」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)
日 程:平成30年9月5日
内 容:学校における学生・保護者との対応事例を使い、コーチング手法を学ぶ。
対 象:美容科教員1名参加予定

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。
また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりを行う。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5)学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	ADの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10)社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11)国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

根本的に学校をより良いものにしていくという思いと改善をしようとする事が大事だと意見をいただき、改善活動がなされているか、教職員会議で自己点検の進捗状況の共有を実施。また、今年度からは各リーダーも学校関係者評価委員会の場に参加し、全員参加で現場から改善を行っていく。また、昨年の学校関係者委員会内にてハラスメントについての質問があり、職員へのアンケート調査を実施。さらに、学内での研修会も行い改善活動として活用している。美容科では、学内のコミュニケーションを図る目的と技術力向上を兼ねて、新たに職員内での技術の研究・練習会を実施。毎週1回、定期的に継続して行っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
森田 伸	株式会社 ダリア 福岡営業所 課長	H29/4/1~H31/3/31(任期2年)	企業等
原田 七海	株式会社田谷 TAYA天神店	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	卒業生
友岡 貴昭	在校生保護者	H29/4/1~H31/3/31(任期2年)	保護者
永末 里志	博多女子高等学校 理事長・学校長	H29/4/1~H31/3/31(任期2年)	高等学校関係者
亀岡 正茂	舞鶴2丁目町内会長	H30/4/1~H31/3/31(任期1年)	地域住民

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/>

公表時期:平成29年9月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めて頂く事を目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念、歴史、校訓、学校の特色
(2)各学科等の教育	学科コース一覧、国家資格、就職実績、入学案内
(3)教職員	教員一覧
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	セミナー・コンテスト実績、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、留学生学習・生活サポート、留学生就職サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	グローバル教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(学生便覧))

URL:<https://asojuku.ac.jp/abc/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	1 衛生行政 (1) 衛生行政の意義 2 美容師法 (1) 法の目的 (2) 美容師に対する法的規制 (3) 美容所に対する法的規制	2年・通	30		○			○			○	
○			衛生管理	1 公衆衛生概説 (1) 公衆衛生の意義 (2) 公衆衛生と美容業 (3) 保健所の業務 2 感染症 (1) 美容所における感染症対策 3 環境衛生 (1) 環境衛生の意義と目的 (2) 美容所における環境衛生 4 衛生管理技術 (1) 美容所における衛生管理の意義と目的 (2) 消毒法の選択と実施方法 (3) 消毒法の実習	1年・後2年・通	90		○			○			○	
○			美容保健	1 人体の構造及び機能 (1) 人体の構造及び機能と疾病との関連 2 皮膚科学 (1) 皮膚の構造 (2) 皮膚付属機関の構造 (3) 皮膚の循環器系と神経系 (4) 皮膚と皮膚付属機関の生理機能 (5) 皮膚と皮膚付属機関の保健 (6) 皮膚と付属器官の疾患	1年・後2年・通	90		○			○			○	
○			香粧品化学	1 香粧品概論 (1) 香粧品の社会的意義と品質特性 2 香粧品用原料 (1) 香粧品の対象となる人体各部の性状 3 基礎化粧品 (1) 皮膚清浄用香粧品 4 メイクアップ用香粧品 (1) メイクアップ用香粧品の種類と錠形 5 頭皮・毛髪用香粧品 (1) シャンプー剤、スタイリング剤 6 芳香製品と特殊香粧品 (1) 芳香製品	1年・後2年・通	60		○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			美容文化論	1 美容文化史 (1) 美容ファッションの変遷 (2) 美容業における流行の意義と役割 2 服飾 (1) 美容における服飾の意義 (2) 衣服に関するエチケット	1年・前2年・通	60		○		○				○		
○			美容技術理論	1 器具の取扱い (1) 美容器具の種類、各部の名称及び使用目的 (2) 美容器具の選定法、研磨法、基本的操作法及び手入れ法 (3) ヘアドライヤー、ヘアスチーマー及びブラシの使用目的と手入れ法 (4) 被布及び布片類の使用目的 (5) 美容器具の消毒法 2 基礎技術 (1) 美容技術の意義と基礎知識及びデザイン 3 頭部技術 (1) 頭部技術の基礎知識 4 特殊技術 (1) 特殊技術の基礎知識 5 和装技術 (1) 和装技術の基礎知識	1年2年・通	150		○		○			○			
○			美容運営管理	1 経営管理 (1) 美容業における経理事務 2 労務管理 (1) 美容業における労務管理 3 接客法 (1) サービス・デザイン (2) マーケティング (3) サービスにおける人の役割	1年・前2年・後	30		○		○				○		
○			美容実習	1 器具の取扱い実習 2 基礎技術実習 3 頭部技術実習 4 特殊技術実習 5 和装技術実習 6 総合実習	1年2年・通	900				○	○	○	○	○	○	
○			ヘアカット	1 ブロッキングとシェーピング 2 ワンレングス理論及び実習 3 グラデーション理論及び実習 4 レイヤー理論及び実習	1年・通	60				○	○			○		○
○			メイクアップ	1 メイク理論及びスキンケア実習 2 ベースメイク実習 3 アイメイク実習 4 リップカラー、チークカラー実習	1年・通2年・前	90				○	○			○	○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ネイル	1 ネイル理論 2 ネイルケア 3 ネイルカラー 4 ネイルアート	1年・通	60				○	○		○	○	
○			エステティック	1 エステティック理論 2 スキンケア実習 3 フェイシャルエステ実習 4 ヘッドマッサージ実習	1年・前	60				○	○		○	○	
○			シャンプー & ブロー	1 シャンプー理論 2 シャンプー実習 3 ブロー理論 4 ブロー実習	1年 2年・後	60				○	○		○		
○			ヘアカラー	1 毛髪科学、ヘアカラー理論 2 プリーチ実習 3 ワンメイク実習 4 リタッチ実習	1年・後	30				○	○		○	○	
○			デザイン	1 カラーコーディネイト理論 2 カラーコーディネイト演習 3 デッサン（ドローイング） 4 模写実習	1年・前 2年・後	60				○	○		○		
○			ヘア&着付け	1 ヘアアレンジ実習 2 着付実習	1年・後	30				○	○			○	
	○		選択ヘアデザイナーコース	1 トランジェントグラデーション実習 2 スクエアレイヤー実習 3 クラシックグラデーション実習 4 トランジェントカット実習	2年・通	150				○	○		○	○	
	○		選択ヘアメイクアップアーティストコース	1 TAYAアドバンスカット 実習 2 shu uemura アドバンスメイク実習	2年・通	150				○	○		○	○	
	○		選択ブライダルスタイリストコース	1 ブライダルヘアアレンジ実習 2 ブライダルメイク実習 3 ブライダルドレスフィッティング実習	2年・通	150				○	○		○	○	
	○		選択ヘアカラーリストコース	1 ヘアカラーアドバンス実習 2 パーソナルカラー演習	2年・通	150				○	○		○	○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職実務	1 就職までの流れに関する講義 2 就職活動時の注意点に関する講義 3 履歴書及び面接対策に関する演習	1年・前2年・前	30		○			○		○		
○			GCB	1 感謝心と思いやり 2 志を立てる	1年・前2年・前	30			○		○		○		
○			総合学習	1 企業セミナーの受講 2 福祉ボランティアへの参加 3 社会貢献事業への参加	1年・通2年・前	30			○		○		○		
合計					23科目			2100単位時間 (単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
厚生労働大臣の指定した美容師養成施設において定められた法定時間（履修時間）を履修していること。（学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。）各学期、教科課目の区分ごとに、その教科課目の3分の2以上（実習を伴う教科課目は5分の4）以上出席を満たしていること。 当該学年において履修すべき課目の各学期ごと試験の通年評価が必修課目60点（C評価）以上、選択必修課目60点（C評価）以上であること。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	19週